

[2019]九州大学情報統括本部年報 : 2019年度

<https://hdl.handle.net/2324/4123611>

出版情報 : 九州大学情報統括本部年報. 2019, pp.1-, 2020-12-01. Information Infrastructure Initiative, Kyushu University

バージョン :

権利関係 :



第 20 章 学生サービスポータルタスクフォース

20.1 学生等のニーズ調査

基幹教育の学生を対象に学内センシング情報サービスアンケートを実施した。

- これまでに 300 名強から回答を取得
- バス停や食堂の混雑状況がわかると便利という回答が 80% 以上
- センサでセンシングされることへの抵抗感を感じる学生は 10% 未満
- 95% 以上の学生が便利なサービスを得るためにはセンシング対象になることに一定の理解

以下、自由記述意見より抜粋

- あると便利な情報
 - 風の強さ、自動販売機の場所、バスの現在位置、予約した aimo の場所、バスの乗車率
 - 図書館の空き情報、教室の混み具合、など
- センシングに関する意見
 - 個人が特定されて悪用されることがなければセンシングされても構わない、混雑状況がわかると便利だが、混雑がわかっても予定はずらせない、センシングがどんなものかわからない、など

この他、学生からの意見で、アプリの英語化の要望などがあった。

20.2 ポータルサイトの検討と開発・評価

学内で開発されたアプリ及び開発イベントの周知などを目的としたポータルサイトのプロトタイプを開発し学内限定で公開している。また、開発されたアプリのポータルサイト以外の周知方法等も検討している。

20.3 ポータルサイトに掲載するアプリの承認手続きの検討

承認手続きについて、取り扱うデータの管理面とセキュリティ面からチェックリストの項目を検討中である。

20.4 アプリ開発の支援

本 TF に関わる教員が LINE 株式会社と共同で、LINE アプリ開発アイデアソン・ハッカソンを実施し、学生が製作した LINE アプリが 2 件開発された。

LINE アプリ開発アイデアソン・ハッカソンを通じて下記の課題が見えてきた。

- 学生が開発したアプリを継続的に運用する方法
- 学生が開発したアプリに対する個人情報の取り扱いやセキュリティ面での取り扱い